

No.	420-020	事務事業名	生活保護適正実施推進事業				所属部	保健福祉部
							所属課	生活福祉課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり				課長名	町田正一
	施策名	0 3	地域福祉の推進				所属G(係)	生活保護第1G,第2G
	基本事業名	0 1	生活困窮者への支援の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 3	0 3	0 1	55090	生活保護適正実施推進事業	生活保護法	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
生活保護を適正に実施するために、以下の取り組みを行う。 保護受給者の診療報酬明細書の点検を行い、診療報酬の請求誤りを発見する。 保護受給者の収入・資産の調査、扶養義務者への援助依頼を行い、不正受給の発見・防止及び扶養義務の履行を促進する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	診療報酬明細書点検、収入調査、資産調査、扶養義務調査	ア:点検した診療報酬明細書数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年と同様	イ:収入・資産調査実施世帯数(延べ)	世帯
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	指定医療機関、保護受給者、扶養義務者	ウ:扶養義務調査実施世帯数	世帯
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	指定医療機関に適正な診療報酬請求をしてもらう。 保護受給者に収入・資産について正しい申告をしてもらう。 扶養義務者に保護受給者への扶養義務を認識してもらう。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	経済的に自立した生活が営める。 適正に保護される。	ア:診療報酬請求件数	件
		イ:保護世帯数(月平均)	世帯
		ウ:	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア:診療報酬明細書の点検による効果件数	件
		イ:収入・資産調査による効果件数	件
		ウ:扶養義務調査による効果件数	件
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア:保護率	%
		イ:就労等により自立した保護世帯数	世帯
		ウ:	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円	1,117	1,343	1,236	4,602		
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	1,117	1,343	1,236	4,602			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,117	1,343	1,236	4,602			
活動指標	ア:件		23,415	24,664	25,767	25,000			
	イ:世帯		1,061	926	887	1,000			
	ウ:世帯		245	173	75	100			
対象指標	ア:件		23,415	24,664	25,767	25,000			
	イ:世帯		884	937	970	1,000			
	ウ:								
成果指標	ア:件		298	544	517	300			
	イ:件		11	3	9	10			
	ウ:件		5	0	1	5			
上位成果指標	ア:%		9.9	10.5	10.7	12.2			
	イ:世帯		46	52	69	50			
	ウ:								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
H17のセーフティネット支援対策等事業費補助金の創設に合わせ、同補助金のメニューのうち、生活保護の適正化に資するメニューを選択し事業開始。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
H17事業開始のため、状況変化なし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	生活保護適正実施推進事業	所属部	保健福祉部	所属課	生活福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	おおむね順調である。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							